



Project : “ConnectED” through Kids’ ISO 14000 Programme between Buenos Aires and New York

ブエノスアイレス・ニューヨーク 子供TV国際会議 報告

November 4, 2013

Supported by ArTech, Japan

*Kids’ ISO 14000 programme for the elementary schools in Buenos Aires has been financed by JICA(Japan International Cooperation Agency, Argentina) and implemented by Escuelas Verdes(Green Schools), Ministry of Education, Buenos Aires, Argentina

Proposed & administered by Masahiro Kozuma

Kids’ ISO 14000 Programme instructor in New York, USA

c/o Japanese Children’s Society, US Non-Profit Organization

NJ campus:8 West Bayview Ave., Englewood Cliffs, NJ 07632 USA

Director General, kozuma.nyikuei@gmail.com ,kozuma@JapaneseSchool.org

Introduction はじめに

In the contemporary world of increasingly global communications, exceptional literary and artistic works have played significant roles in the mutual understanding between peoples of different cultures and backgrounds. Unfortunately, the school educational system has not established curricula that abide to international standards. The Kids’ ISO 14000, however, is a rare exception that meets global standards at the elementary level.

This time, the children who participated in the program will connect the two American continents through Skype calls. These calls will exemplify the beginnings of a network of bonds that connect children internationally –across countries and even continents – in this borderless age.

優れた文学作品、芸術作品などを世界の人々が共通の体験として共有することはグローバルな時代となった現代において世界の人々の相互理解にとっても役にたつと考えられる。しかし、残念ながら学校教育のカリキュラムにおいてグローバルスタンダードと呼べるものはあまり見受けられない。その中において Kids’ ISO 14000 は世界標準の希有の児童用プログラムの一つである。

今回、このプログラムを体験した児童が南北アメリカ大陸を繋ぐ形でスカイプを通して交流することはまさしくボーダレスな時代となった現代において、国を、そして大陸を超えた子ども達の「個」の交流の先駆けとなると信じている。

Purpose 目的

Through the international exchange between the New York Ikuei Academy Japanese students and the Buenos Aires Argentinian students, both of which incorporated the introductory level of the Kids' ISO 14000 in their studies, children will increase their comprehension of the programme while simultaneously developing a global perspective.

Kids' ISO 14000 入門編に取り組んだ米国NY地域に在住するNY育英学園児童（日本人児童）とアルゼンチン・ブエノスアイレス市に在住するアルゼンチン人児童による国際交流を通して、Kids' ISO14000 への理解をより深めると共に、グローバルな視点を育む機会とすることを目的とする。

Method 方法

(1)Date and Time: November 4th, 2013

from 12:55pm to 2:05pm @Buenos Aires Time, Argentina

from 10:55am to 12:05pm @Eastern Standard Time, USA

(2)Place: Buenos Aires: Escuela Nº 20 D.E. 9º, Güemes 4610 - C.A.B.A, ARGENTINA

New York: Japanese Children's Society/ NY Ikuei Academy, Englewood Cliffs, NJ

ブエノスアイレス公立小学校 Nº 20 D.E. 9º、ニューヨーク育英学園N J キャンパス

(3)Subject: Buenos Aires: 18 students (Ms. Monica de los Santos's 5th grade classroom)

New York: 11 Japanese students (Ms. Saito's 5th grade classroom)

(4)Communication means: TV conference through Skype

Skype ID: Buenos Aires:esc20de9, New York: nyikuei

(5)Languages used: Spanish, Japanese and English

Contents:

(1)Opening remarks 開会の辞(Mr. Esteban Bullrich, El Ministro de Education アルゼンチン国教育大臣)

(2)Greeting from Principals 校長挨拶(Buenos Aires: Ms. Patricia Tejero, New York: Mr. Toru Okamoto)

(3)Opinions, questions and answers by students and teachers 児童意見交換・質疑応答

(4)Closing remarks 閉会の辞 (Mr. Yuji Misu, JICA, Argentina & Mr. Carlos Gentile, Green School, Buenos Aires)

Other participants in this event are as follows:

Mr. Fancisco Campos, Directorate-General International Relations and Cooperation, Buenos Aires

Ms. Maria Pinera, Green School

Ms. Delia Mitsui, Office of Kid's ISO, Argentina

etc.

*No monetary compensation will be financed by ArTech for this project.

<開会の辞>

アルゼンチン教育大臣 Esteban Bullrich 氏より、「今回のブエノスアイレスとニューヨークの子供達の交流をととても喜んでいきます。今日はその始まりであり、これから継続して交流がなされることを希望します。」との挨拶を頂いた。その後、ブエノスアイレス市教育省グリーンスクール課の Mr. Carlos Gentile, Ms. Maria Pinera、ブエノスアイレス市国際協力課 Mr. Francisco Campos の各氏の紹介の後、JICA 三須裕二氏、ブエノスアイレス公立小学校校長、ニューヨーク育英学園理事長の挨拶と続いた。

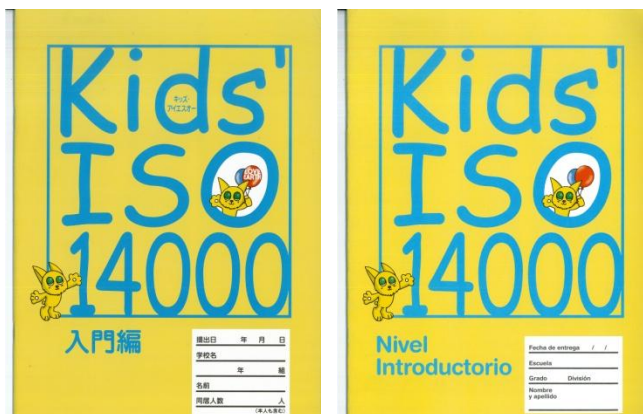
<児童意見交換・質疑応答の様子>

【ブエノスアイレスから】

まず、ブエノスアイレスの児童から自己紹介があった後、今回の Kids' ISO 14000 プログラムで学習したことの発表があった。4つの分野（ガス、水、電気、ゴミ）に取り組んだこと、但し、水やゴミには積極的に取り組めたが、ガスや電気ではメーターへのアクセスが困難で、取り組みが十分にできなかったことが報告された。その後、具体的な取り組みとして、①シャワーの時間を短くした、②食器を洗うときにお母さんにまとめて洗い、その後、リンスしてもらった、③植物に水をやるときは昼間に蒸発してしまわないように、夕方などに水やりをした、④歯磨きの時は水を止めて、グラスに水を入れて口をすすいだ。⑤車を洗うときはバケツに水を入れて洗った、等がそれぞれの子供から発表された。

その後、ブエノスアイレスの子供からの質問に入った。最初の質問は「将来何になりたいですか？」というもの。Kids' ISO の質問を身構えていたニューヨークの子供達もこれでリラックス。NYの子供達はサッカープレイヤー、パン屋さん、幼稚園の先生、フライトアテンダント、シンガー、プロフェッサー、アニマルドクターと答えていました。ブエノスアイレスではサッカーは国民的スポーツですので、その答えを聞いて大いに盛り上がっている様子でした。

次の質問はどんな作戦を行いましたか、というもの。これに対して①歯磨きの時にコップに水を入れて口をすすいだ（山口君）、②I always turn off the light when it's not necessary.（藤田君）と答えていました。3つ目の質問は Typical school day を教えて下さい、というもの。これに対して先週の木曜日は1時間目が国語、2時間目英語、3, 4時間目図工、5, 6, 7時間目がプロのパティシエを招いての特別クッキングでおかし作りをしたことを日本語と英語で教えてあげました。



【ニューヨークから】

ニューヨークの児童からの最初の質問は「ゴミを少なくするために、どんなことをしていますか（植田さん）。」でした。これに対して、容器などの再利用（リユース）をしているとの答えが返ってきました。次の質問は「私たちは、ゴミを分別して捨てています。そちらでは分別していますか（北山さん）。」これに対しては「緑色とグレーの入れものに分けて入れている。緑は **dry** のゴミでグレーは **wet** のゴミです。」という答えだった。ゴミの話になったので、ブエノスアイレスから「ストリートにゴミ箱はありますか」という質問があり、場所によってあると答えました。その後、TV画面にお互いのゴミ箱を映し出して説明し合いました。ブエノスアイレスの学校のゴミ箱は黄色の **recycle** と黒のバスラ（ゴミ）の表示のあるものでした。ニューヨークの学校のゴミ箱は青い **recycle** のものとグレーの一般ゴミ箱でした。（その他、紙専用のごみ箱、段ボールの分別などありましたが、紹介できませんでした。）ブエノスアイレスより、「家ではどのようなゴミの分別をしていますか。」、との質問があり、前田君が自分の家では①普通のごみ、②ペットボトル、③生ごみ、④新聞紙と答えてくれました。



次に、廉林さんが「私たちは節電するために冷房の温度を上げるなどしています。節電のために、どんなことをしていますか。」と質問しました。これに対して、教室の温度を24℃に設定していることを教えてくれました。ニューヨークから、「ブエノスアイレスは今、暑いですか。」と質問しました。これに対して、「今はSpringで今日はSunnyでwarmです。今22℃です。」と答えてくれました。こちらはこれから冬でその時は外はchillyでしたので、子供たちは不思議そうな顔をして、南半球であるアルゼンチンのことを理解したようでした。

NY育英学園 小学5年児童	ブエノスアイレス児童への質問
久島 陽	ぼくたちの学校では、雨水をためて、節水しています。ブエノスアイレスでは、節水のためにどんなことをしていますか。
藤田 航輝	節電のために、服装や家具で工夫していることはありますか。
前田 星冴	地球が温暖化されていると感じることはありますか。それはどんなときですか。
山口 祐楓	どんなリサイクルをしていますか。
尾関 日菜里	Kid's ISO でどんなことを学びましたか。
廉林 佑希乃	私たちは節電するために冷房の温度を上げるなどしています。節電のために、どんなことをしていますか。
後藤 芽亜	ブエノスアイレスは今、暑いですか。寒いですか。
森山 京香	好きな教科は何ですか。
植田 彩花	ごみを少なくするために、どんなことをしていますか。
竹花 佳加	ブエノスアイレスの天気はどうですか？
北山 美羽	私たちは、ごみを分別して捨てています。そちらでは分別していますか。

また、学校としての取り組みとして Rain water Project をNYの Kids' ISO インストラクターの上妻が紹介しました。裏庭の園庭に植えている七夕行事のための笹の枯れたものを利用して、ペットボトルを半分に切り、ひしゃくを作り、雨樋の水をためて植物に水をやっている様子を写真で紹介しました。これには How nice とのコメントがブエノスアイレスよりありました。



その他、様々な質問が飛び交いました。最後にブエノスアイレスの児童が「セニョール プラネット」 Dear Planet Earth という地球への手紙「詩」を朗読してくれました。英語でその訳を聞いた後、双方の子供達、参加者全員から拍手が巻き起こりました。

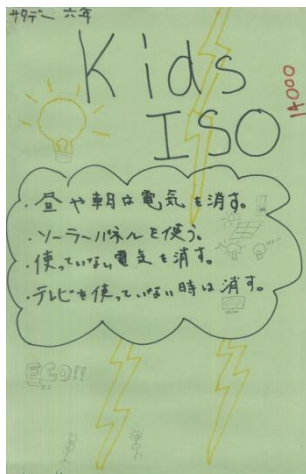
最後に双方の学校より、今後の継続的な交流の約束が交わされ、閉会となりました。

<閉会の辞>

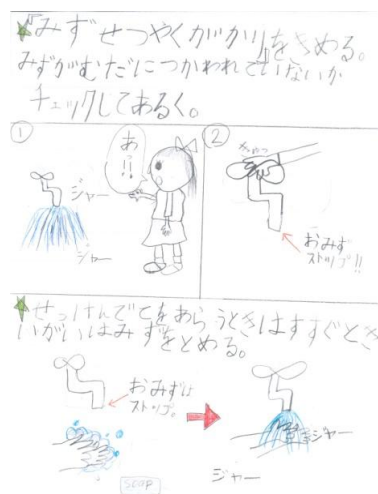
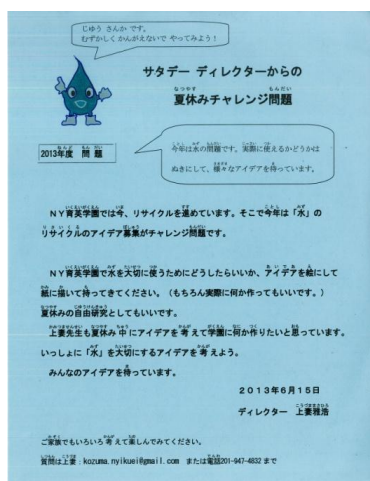
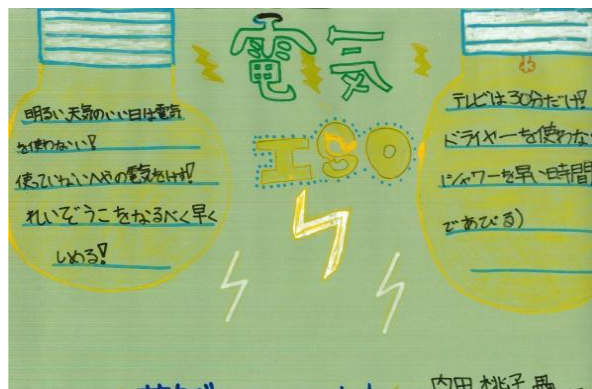
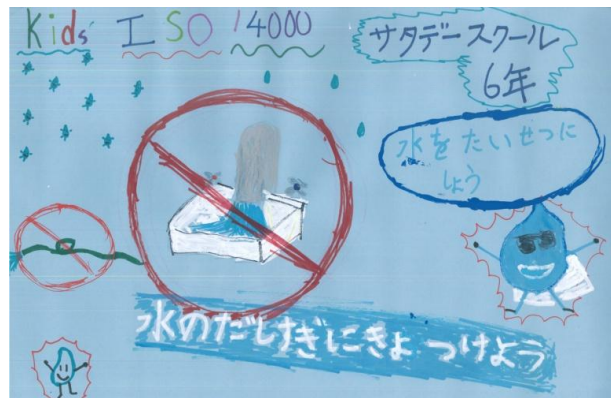
ブエノスアイレスの Kids' ISO のスポンサーである JICA の三須裕二氏より、ニューヨークの子供達に「ブエノスアイレス、またはアルゼンチンに来たことのある人はいいますか？」との質問があり、子供達の中には当地を訪れた者は一人もいませんでした。続いて、「将来言ってみたいですか？」の質問には全員が元気よく、手を挙げて答えていました。そして、双方が機会があれば是非、お互いを訪ねてほしいこと、これをきっかけに友達になって下さい、との言葉がありました。また、グリーンスクールの Carlos Gentile 氏より、これを初めとして、他のブエノスアイレスの学校とも是非、交流をしてほしい、今日はありがとうございました、との言葉がありました。Patricia Tejero 校長からの、「今日は嬉しい。今後ともよろしくお願いします。」との言葉で締めくくられた。

<ニューヨーク側の様子>





ニューヨーク育英学園の児童が
作成した節電、節水のポスター



<ブエノスアイレス側の様子>

<http://www.buenosaires.gob.ar/noticias/primera-tele-conferencia-en-post-de-la-red-global-de-ninos-ambientalistas>

<http://www.youtube.com/watch?v=0KQ0X9A5OE8>


Buenos Aires Ciudad

[INICIO](#)
[LA CIUDAD](#)
[GOBIERNO](#)
[ATENCIÓN CIUDADANA](#)
[INFO PÚBLICA](#)
[TURISMO](#)
[NOTICIAS](#)
[ACCESIBLE](#)

NOTICIAS

Inicio » Escuelas Verdes

Primera tele conferencia en post de la red global de niños ambientalistas

Fecha: miércoles 6 noviembre 2013

 Me gusta 0
  Tweetear 0
  +1 0








Videoconferencia entre escuela de la CABA y Nue...



En el marco del Proyecto Kids ISO 14000 llevado adelante por el Programa Escuelas Verdes se realizó en el día de hoy la primera tele conferencia entre alumnos de la Escuela N° 20 DE 9 "Carlos María Biedma" de la Ciudad de Buenos Aires y la escuela "New York Ikuei Academy" de la ciudad de Nueva York.

Alumnos de quinto grado de ambas escuelas pudieron compartir experiencias sobre la implementación de este proyecto, intercambiando propuestas, estrategias y opiniones sobre el cuidado del ambiente en sus escuelas y hogares.

En un encuentro de aproximadamente dos horas comentaron con gran entusiasmo los excelentes resultados alcanzados gracias a la implementación del proyecto y destacaron el apoyo incondicional de los docentes y la conducción de la escuela a cargo del mismo.

Esta iniciativa es el comienzo de una serie de encuentros proyectados entre ambas escuelas con el objeto de potenciar su vínculo para la creación de una red global de niños interesados en el cuidado del planeta.

